

表面

講演・公開対談

三浦佑之

国文学者／千葉大学名誉教授

赤坂憲雄

民俗学者／学習院大学教授

出雲と
風の谷

— 神話的想像力をめぐつて

古代と近代、権力の所在が激変し、ヤマトや天皇制をめぐる物語があらたに創出される。その過程において、つなに「問題」として存在した出雲を古事記はいかに語ったのか。一方、人と自然のあるべき姿を「未来の年代記」という形で描いた宮崎駿は、近代の行き詰まりと崩壊をどう見据えているのか。相前後して『出雲神話論』（講談社）、『ナウシカ考』（岩波書店）をそれぞれ世に問うた、国文学と民俗学の第一人者が、「建国記念日」という特異点で、千年の時空を超えた神話的想像力について語り合う。

© 鈴木正道 (Suzuki Design)

日時 | 2020年2月11日(火・祝) 14:00～

場所 | 東京国立博物館 平成館大講堂 参加費無料

主催：講談社／アジア文化談話会 協力：岩波書店



三浦佑之 (みうら・すけゆき)

1946年、三重県生まれ。成城大学文芸学部卒業。共立女子短期大学教授、千葉大学教授、立正大学教授などを歴任。千葉大学名誉教授。2002年に『口語訳古事記 完全版』(文藝春秋)を刊行、ベストセラーとなる。2003年、同書で第1回角川財団学芸賞を受賞。『古事記』研究の第一人者にして、通説にとらわれない斬新な論を展開しつづけている。『古事記神話入門』(文春文庫)、『古事記を読みなおす』(ちくま新書)、『風土記の世界』(岩波新書)など著書多数。



赤坂憲雄 (あかさか・のりお)

1953年、東京生まれ。東京大学文学部卒業。学習院大学教授。福島県立博物館館長。東北芸術工科大学教授として東北文化研究センターを設立し、『東北学』を創刊。2007年『岡本太郎の見た日本』(岩波書店)でドゥマゴ文学賞受賞、同書で芸術選奨文部科学大臣賞(評論等部門)受賞。『異人論序説』『排除の現象学』(ちくま学芸文庫)、『境界の発生』『東北学／忘れられた東北』(講談社学術文庫)、『東西／南北考』(岩波新書)『性食考』(岩波書店)など著書多数。

裏面

〈著書紹介〉



『出雲神話論』三浦佑之 定価：本体 3,600 円(税別)

姉アマテラスに逆らって追放されたスサノヲ。スサノヲの娘スセリビメと結ばれて地上の主として君臨したオホナムヂ(オホクニヌシ)。しかし、その栄華も高天の原の神がみによって打ち碎かれる。この物語はなにを意味するのか。神話の向こうに微かに見える、古代における日本列島の姿を明らかにせんとする、著者の古事記研究五十年余の総決算！



『ナウシカ考』赤坂憲雄 定価：本体 2,200 円(税別)

一九八二年から誌『アニメージュ』に連載され、映画版の制作を挟み九年に完結した、宮崎駿の長編マンガ『風の谷のナウシカ』。この作品の可能性の種子は、時代の喘ぎのなか、いま、芽生えと育ちの季節を迎えようとしているのかもしれない——。多くの人に愛読されてきたこのマンガを、二十余年の考察のもと、一篇の思想の書として徹底的に読み解く。



- ・東京国立博物館「西門」よりご入館ください。
- ・特別展「出雲と大和」展からの入場はできません。
- ・講演中は飲食不可とさせていただきます。
- ・録音・撮影は不可とさせていただきます。

バスマーケットで予約受付中

出雲と風の谷

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/01267c10pufwa.html>

検索

